

令和 2 年度

長崎県技術士会通常総会（書面表決実施）

通常総会（書面表決実施）次第

議 事

- (1) 第 1 号議案：令和元年度事業報告
- (2) 第 2 号議案：令和元年度収支報告及び監査報告
- (3) 第 3 号議案：令和 2 年度事業計画（案）
- (4) 第 4 号議案：令和 2 年度収支予算（案）
- (5) 第 5 号議案：長崎県技術士会細則一部改定（案）
（報告）令和元年度、令和 2 年度役員構成

第 1 号議案：令和元年度事業報告

1：総会・会議

令和元年度長崎県技術士会通常総会

令和元年年 6 月 8 日 開催 出席者 61 名 委任状 43 名 合計 104 名

会場：諫早観光ホテル 道具屋

定例役員会・・・	H31. 4. 11 出席者 11 名	会場	長崎大学工学部 2F 会議室
	R1. 6. 8 出席者 10 名	会場	諫早観光ホテル 道具屋
	R1. 8. 27 出席者 12 名	会場	長崎大学工学部 2F 会議室
	R1. 10. 28 出席者 10 名	会場	長崎大学工学部 2F 会議室
	R1. 12. 4 出席者 10 名	会場	ホテルセンリュウ
	R2. 2. 21 出席者 9 名	会場	長崎大学工学部 2F 会議室

2：研修会・現場見学会関係、機関誌配信、会員名簿の発行

- ・ R1. 6. 8 CPD 研修会（諫早観光ホテル 道具屋） 参加者 61 名
- ・ R1. 9. 4 CPD 研修会（L&L ホテルセンリュウ） 参加者 41 名
- ・ R1. 12. 4 CPD 研修会（L&L ホテルセンリュウ） 参加者 31 名
- ・ R1. 5. 22 CPD 見学会（西部ガス㈱長崎工場） 参加者 22 名
- ・ R1. 10. 17 CPD 見学会（国道 57 号森山拡幅工事現場他） 参加者 40 名

- ・「長崎地盤研究会の勉強会・ジオラボ」の後援団体として研修会へ参加
令和元年度は勉強会 4 回、現場見学会 1 回（会長は長崎大学の蔣教授）
現場見学会は技術士会の現場見学会と合同開催

- ・「産業基盤維持管理技術研究会」の後援団体として講演会等に参加
令和元年度は講演会 3 回、見学会 1 回（会長は長崎大学の中村教授）
- ・機関紙 第 65 号（4/10）・66 号（7/10）・67 号（10/10）・68 号（1/10）の発刊
- ・会員名簿令和元年度版の印刷（350 部）、会員及び関係機関に配布（7～8 月）
- ・県技術士会の独自ホームページの運営管理の継続

3：会員の増強、

- ・令和 2 年 6 月 1 日現在の会員数 180 名（新入会員 7 名）
*昨年度の会員数は 174 名（令和元年 6 月 1 日現在）で報告

4：その他

- ・ながさき建設技術フェア 2019 の後援（R1. 10. 30～31）
- ・NPO 技術フォーラム懇話会に参加（R1. 11. 30）
- ・長崎大学における技術士会による第 5 回講義実施：受講大学生 40 名（R2. 2. 3）
- ・長崎大学工学部土木工学科創立 50 周年記念事業の一環として協賛
社会環境共通：教育研究運営助成のため 10 万円を寄付（R1. 10. 8）
- ・詳細は機関紙「APREN だより」「長崎県技術士会ホームページ」を参照願いたい。

以上

第2号議案 令和元年度収支決算

【収入の部】

額単位：円

科 目	予算額	決算額	備 考
会費	455,000	469,000	現金206,000円、銀行振り込み16,000円、郵便振替247,000円
総会会費	160,000	170,000	総会(6月)時の懇親会費(34名*5,000円)
研修会費	200,000	159,000	研修会(9月、12月)時の懇親会費
受取利息	15	11	18銀行(8月、2月)
雑収入	0	0	
計	815,015	798,011	
前年度繰越金	2,673,800	2,673,800	30年度残 現金8,035円 銀行通帳1,461,395円 郵便局振替1,204,370円
収入計	3,488,815	3,471,811	▲17,004

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	備 考
総会・研修会費	472,000	408,080	総会、研修会の懇親会費
活性化費	0	0	
事業活動費	0	0	
協力費	40,000	110,000	NPO技術フォーラム10,000円 長崎大学100,000円
役員会等費	30,000	25,000	役員会参加費(県技術士会負担分)
名簿作成費	302,400	302,400	350部(印刷・製本代)
交通通信費	20,000	42,179	会員名簿送付郵便・宅急便 駐車場代等
事務・消耗品費	47,000	51,971	総会資料コピー代、ドメイン、サーバ料金、事務用品代含む
雑費	30,000	21,780	講師謝礼品等
計	941,400	961,410	
次年度繰越金	2,547,415	2,510,401	元年度残 現金48,168円 銀行通帳1,026,406円 郵便局振替1,435,827円
支出計	3,488,815	3,471,811	▲17,004

繰越金差額2,673,800円-2,510,401円＝▲163,399円

* 昨年度より繰越金が163,399円減少したが、繰越金が2,510,401円あり、会費の値上げ等の対策は必要ないと判断される。

第2号議案

監査報告書

令和2年3月30日、扇精光コンサルツ(株)会議室において、令和元年度の収支について監査をいたしました。

収入、支出について預金通帳並びに領収書等、関係書類等を詳細に監査しましたが、すべて適正に処理されている事を確認いたしましたので報告いたします。

令和2年3月30日

長崎県技術士会

監事 松尾 稔



監事 兒玉英治



第3号議案：令和2年度事業計画（案）

1：総会・会議

1）県技術士会

令和2年5月 開催 「令和2年度長崎県技術士会通常総会」

新型コロナ対策の為、開催方法変更（書面投票をを5月中に実施）

表決集計確認は6月5日までに実施

役員会 定例会議の開催・・・年6回の開催

その他メールによる情報交換開催

2）その他

長崎県支部の会議・年次大会・役員会などに協力

会員に対して積極的な情報（CPD等）のメールにての伝達実施

2：研修会・見学会関係

見学会の開催（県支部、県技術士会共催）・・・年2回実施予定（詳細未定）

研修会開催（県支部、県技術士会共催）・・・年3回開催予定（詳細未定）

「ジオラボ」（県技術士会後援）への参加（勉強会年4回、現場見学会年1回）詳細未定

「産業基盤維持管理技術研究会」（県技術士会後援）への参加（講演会3回、見学会1回）

詳細未定

*新型コロナ対策の為、開催日時等の詳細は未定であるが、決定次第会員にお知らせ予定

3：会員名簿・機関誌・その他

1）長崎県技術士会の会員名簿の作成配布

最新版名簿・機関誌集・会員論文、その他広報からなる会員名簿の作成（A-4版）

350部（昨年も350部）印刷、会員及び関係者に配布

2）機関誌の発行と内容の充実（4月、7月、10月、1月の年4回発行）

3）メール等による連絡網の充実（機関紙の配布、連絡事項に極力メールを活用する） 及び技術講演会などの開催情報の伝達・広報活動

4）ホームページの更なる改編・充実を実行し、会員増強や会員内外のHP活用を推進

5）技術機関との連携

・（公財）長崎県建設技術研究センター（NERC）との連携

・各種技術機関・協会との連携、NPO技術交流フォーラム（佐賀県）等との連携

- ・長崎大学との連携・・・長崎地盤研究会、産業基盤維持管理技術研究会等への後援、学生を対象とした講義の実施（第6回目）
CPD の機会拡充、長崎大学との意見交換会実施、大学での定例役員会開催
 - ・その他学会、協会への協力・・・CPD 機会の拡充
- 6) 「日本技術士会長崎県支部」の活用等についての検討
詳細は県支部年次大会で説明
- 7) その他、会の活性化について
技術士会の知名度向上ための活発な活動
積極的な会員募集、会員の増員・増強活動

以上

第4号議案
令和2年度収支予算[案]

【収入の部】

額単位:円

科 目	前年度決算額	本年度予算額	備 考
前年度繰越金	2,673,800	2,510,401	▲163,399円
会費	469,000	470,000	3,000円*155名+1,000円*5名
総会会費	170,000	170,000	総会・交流会時の懇親会費
研修会費	159,000	160,000	研修会・交流会時の懇親会費
受取利息	11	10	
雑収入	0	0	
計	798,011	800,010	△1,999円
収入計	3,471,811	3,310,411	▲161,400円

【支出の部】

科 目	前年度決算額	本年度予算額	備 考
総会・研修会費	408,080	410,000	総会,研修会時の交流会・懇親会費
活性化費	0	0	他団体等イベント参加費等
事業活動費	0	0	
協力費	110,000	40,000	NPO、県関連、大学・学会関連
役員会等費	25,000	30,000	年6回開催予定
会員名簿印刷製本費	302,400	302,400	350部の印刷・製本費予定
交通通信費	42,179	43,000	名簿郵送用の郵便・宅急便及び交通費
事務・消耗品費	51,971	52,000	総会資料等のコピー代他
雑費	21,780	22,000	郵便振替手数料他
計	961,410	899,400	
次年度繰越金(予備費)	2,510,401	2,411,011	前年度より▲99,390円
支出計	3,471,811	3,310,411	

* 今年度も例年通りの事業計画であるが、収入に対して支出が99,390円多いものの、次年度繰越金(予備費)は2,411,011円見込まれる為、会費値上げ等を行わない。

第 5 号議案

長崎県技術士会名誉会員規定変更

従来規定

長崎県技術士会細則

第二章 会員

- 1) 名誉会員 技術士登録者で、年齢が満 80 歳を超えた会員
- 2) 正会員 技術士・第 2 次試験合格者
- 3) 準会員 技術士補・修習技術者及び第 1 次試験合格者
- 4) 賛助会員 本会の目的に賛同し協力する個人又は法人

改定規定

(アンダーライン部が改定で、不明確で会った名誉会員条件、名誉会員登録手続き規定を追加) 改定令和 2 年 2 月 21 日告知

- 1) 名誉会員 技術士登録者で条件を満たし、登録手続きを終えた会員

・名誉会員条件 (名誉会員登録は任意で以下の 1.及び 2 又は 3 そして 4 の条件を満たした会員)

1. 当該年度で 4 月 1 日現在、満 80 歳を超えた会員
2. 入会期間が 20 年以上の会員
3. 技術士会役員経験者等の功労者は入会期間が 10 年以上の会員
4. 会費未納期間がない会員

・名誉会員に登録手続き規定

1. 名誉会員の登録は満 80 歳以上の証明書 (免許証等コピー) を添付し申請する。申請書様式は任意とする。
2. 年度初めの 4 月の役員会で名誉会員条件等を審議し、承認を受ける。
3. 承認を受けた会員は総会で報告し、当該年度から会員名簿に名誉会員として掲載する。
4. 名誉会員は当該年度から会費は無料とする。
5. 名誉会員は会費無料の為、年度毎に往復ハガキ等にて名誉会員登録希望の有無を確認し、確認された名誉会員は会員名簿に掲載する。

* 従来名誉会員は名誉会員登録希望の有無を確認し、確認された名誉会員は会員名簿に掲載する。

長崎県技術士会 役員

役員

令和元・2年度		部門	役割分担	備考
顧問	岡林隆敏	(長崎大学名誉教授・工学博士)	会務への助言・指導、大学との連絡・調整	
会長	山口和登	応用理学	会務全般・会計管理	県支部副支部長
副会長	川村昭宣	建設・総監	会長の会務補佐・業務企画	県支部副支部長
副会長	山口昭光	農業	長崎県・九州本部との連絡・調整	県支部支部長
理事	松永光司	建設・総監	長崎県との連絡・調整・CPD担当・防災総括	県支部幹事
理事	清水正明	建設・上下水道・総監	長崎県との連絡・調整・CPD担当	県支部幹事
理事	園田直志	建設	会報編集・CPD担当・大学との連絡調整	県支部幹事
理事	清水富夫	機械	産業系会員との連絡調整	県支部幹事
理事	折田定良	建設	建設系会員との連絡調整	県支部事務局長
理事	横山知充	機械	産業系会員との連絡調整	県支部幹事
監事	松尾 稔	電気電子	会計監査・産業系会員との連絡調整	県支部会計監事
監事	兒玉英治	環境	長崎市との連絡・調整	県支部会計監事

* 今年度は役員改選の年ではありませんので、昨年同様の役員構成とします。